



# 北光だより

児童養護施設  
北 光 学 園  
〒099-0702  
北海道紋別郡遠軽町  
生田原伊吹46番地3

「北光学園の現在と

今後のあり方について」

園長 堤 茂樹

4月1日に新しい元号を「令和」にする政府から発表がありました。新しい元号は、日本で一番古い歌集「万葉集」から取ったもので、安倍首相は「春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができ、そうした日本でありたいとの願いを込め、決定した。」と選定の理由を説明しています。本園の子どもたちも、一人ひとり明日への希望を

もって、是非それぞれの花を大きく咲かせてほしいと思っております。さて、北光学園は昭和27年開設

以来、「親の心で子ども自立支援」を理念として掲げ、「親の心に一歩でも近い態度で養護に当たるため、心のこもった養育、心のこもった訓育、

「地域に根ざした施設、開かれた施設として、地域社会との交流を促進する。」を運営方針としてきました。こうした本園の基本的な考え方の上に、本年度も次の目標を掲げて運営に当たっていききたいと考えております。

(1) 子どもが心身ともに健やかに育つように、温かい雰囲気のもと個々の児童に合った支援を行う。

(2) 虐待を受けた児童や発達障害を有する児童が抱える心と行動の問題に対する適切なケアを行うとともに、豊かな自然がある雪国の田舎町ならではの養育・指導の方法を研究するなど質の高い養育・支援を目指す。

(3) 子どもの権利を擁護し、職員による虐待や子ども間の暴力・いじめ等のない安心安全な生活を提供する。

(4) 高卒児のリービングケアとアフターケアを充実させるとともに、在園する大学・専門学校等へ通学する児童への支援も強化する。

(5) 地域との交流を大切にするとともに、地域で生活する退所児童の家庭支援等を充実させていく。

## 学園目標

「心」、「体」、「行」の調和がとれ、心豊かでたくましく生き抜く子供を育てる。

(6) 人材確保が難しい中、働きやすい職場作りと質の高い支援を行うことやりがいのある施設作りを行うこと  
 (7) 子どもたちを災害と犯罪から守るため、防災体制及び防犯体制の強化を図る。

(8) 経費節約と効率的な執行に努め、健全な経営を図る。

ここで、本園の現在についてお話ししたいと思います。児童養護施設は、子どもたちが安全で安心して暮らせる「生活の場」であり、子どもたちが健やかに育つ「成長の場」でなければなりません。職員は、日常の生活の中で、子どもたちに生きていくことに必要なことを教えています。子どもたちと一緒に遊び、笑い、悲しみます。病気になったときは看病をします。こうした時間の積み重ねにより、職員と子どもたちの間に信頼関係が築かれ、子どもたちが安心して暮らせるようになるのです。

本園には職員だけでなく、小さい子から大きい子まで一緒に生活しておられます。喧嘩もしますが、お互いに助け合って生活しています。心が折れそうなとき、「自分は一人ではない」ということが子どもたちに生きる力を与えます。卒園後も、お互いに繋がっていてネットワークを作っていることもあります。以前紹介した卒園生のOB・OG会である「友交会」はその一つです。

また、本園は「規則正しい生活をすること」「自分たちの生活の場を綺麗に整えること」「相手を思いやり感謝すること」「挨拶をしっかりとすること」を大切にしてきました。

これらは子どもたちの心や身体の健全な発達を促すものです。こうした方針は、決して特別な方針ではなく、古くさいと考える方もいらっしゃるかもしれませんが、脳科学や心理学等の専門家の本を読むと、最新の科学からも支持されており、長い

間いろいろな学校で教育方針として掲げられてきました。

子どもたちにとって、大切な生活環境は本園だけではありません。学校の先生や同級生、地域の人たち、シヨートステイを受け入れてくれる里親さん、児相や市町村の職員の皆さんも、子どもたちにとって大切な環境です。こうした人たちとの交流が子どもたちを育ててくれるのです。このことはとても大事なことです。

欧米では施設がなく、里親さんが中心ですが、里親さんの家をたらい回しになる子どもたちが一定の割合でいると聞きます。こうした子どもたちの予後は必ずしも良くないのは言うまでもありません。委託先の里親さんがころころ変わると、学校や住む地域も変わることになり、安定した生活環境が保障されなくなってしまう。

ところで、昨年の4月発行の北光だよりでも話しましたが、今後の本

園のあり方については、平成29年8月厚生労働省の新たな社会的養育の在り方に関する検討会が取りまとめた「新しい社会的養育ビジョン」を基にして検討することになりま

す。  
この「新しい社会的養育ビジョン」は、家庭養育を優先し、次にそれに変わる代替養育として里親やファミリーホームへの措置を推進するというものです。児童養護施設は、家庭に近い生活を保障するために、小規模化、地域分散化（地域小規模児童養護施設等の増設）を進めるとともに、本体施設は入所期間に制限のある治療的な入所施設として位置づけられました。加えて、多機能化、高機能化（相談判定、通所、在宅支援機能、里親支援等の機能）が求められています。

しかし、ビジョンの提案どおり里親委託が推進できるのか、本体施設の生活の場としての役割を無くして

良いのか、性急に実現しようとする  
ことで子どもたちにそのシワ寄せが  
来ないか等々、新しい社会的養育ビ  
ジョンが描くシステムへの不安が拭  
いきれません。地方の施設はどこも  
人材確保が極めて困難な状況にあり、  
このままでは人手を多く要する小規  
模化、地域分散化、多機能化、高機  
能化は厳しいと思われる。

北海道（子ども未来推進局）から  
は推進計画を策定するよう既に求め  
られています。いずれにしても、全  
道や全国の児童養護施設協議会、北  
海道等と相談しながら、推進計画を  
検討していききたいと思っております。



三月一日に卒園式が行われました。  
卒園生の答辞の一部を紹介したい  
と思えます。

私は、小学校二年生の時に弟と二  
人でこの学園に入所し、気がつけば  
約九年がたちました。来たばかりの  
頃は、弟と離れるのが嫌で、学校で  
はいつも一緒に居たことを思い出し  
ます。でも、時がたつにつれて友達  
と一緒に居ることが増えて、いつの  
間にか弟離れをすることができてい  
ました。

私は学園生活の中で、お手伝いが  
一番大変でした。きずなホームに移  
動してからは学園よりもやるべきお  
手伝いが多くて、びっくりしたこと  
を覚えていきます。ですが頑張った分、  
ご褒美に沢山のことを考えてくれて、  
色々な所へ連れて行ってもらいまし  
た。いつの間にか、お手伝いは当た  
り前だと思えるようになり、どんな仕  
事も辛くは思わなくなっていました。  
どの行事も、一般家庭では行くこと  
ができなかった場所が多く、今は感  
謝の気持ちでいっぱいです。いろい  
ろな思い出を作ってくれたこと、本

当にありがとうございます。

私たちがここまで成長する事ができたのは、どんな時にも目を離さずに、一番近くで私たち一人一人を支え続けて下さった園長先生や職員の皆さん、そして苦楽を共に過ごした仲間の皆さんのお陰です。今まで本当にお世話になりました。私たち卒園生六名は、元気に出發します。皆さん、ありがとうございました。

【新入生の抱負】

勉強や部活を頑張り、けじめを持って生活します。素直に返事ができるように頑張ります。

新中一 R・O

勉強が難しくなるので、テスト勉強等を頑張りたいです。

新中一 H・I

中学校では、算数から数学になるので、小学校の基礎を確認し、身に付けていきたいです。また、生活面では、中学生として仕事も増えるので、しっかりとこなしていきたいです。

新中一 N・K

字をきれいに書くことと、理科の勉強を頑張りたいです。

新中一 Y・H

苦手な事から逃げず、チャレンジして自分の可能性を広げられるよう頑張ります。

新高一 R・F

高校へ行ったら自己主張ばかりではなく、周りの人の気持ちを考えてくれる人になれる様に頑張ります。

新高一 A・O

実習先で失礼のないようにするの

と、学科の作業を頑張ります。学科の作業意外にも、晩強や部活の両立も頑張ります。

新高一 R・S

学校の校訓でもある、「文武両道」を目標に頑張ります。

新高一 N・S

高校へ進学したら、勉強と部活の両立を頑張ります。

新高一 N・O

【新任職員挨拶】

「北光学園にきて」

副管理者 安藤 達

四月一日より、北光学園に着任しました。大学を卒業し直ぐに務めたのが北光学園です。25年ぶりに遠軽町生田原に戻ってきました。新任

職員として頂いた辞令書の内容に「住み込みを条件とする」と書かれてあった事を思い出しました。勤務年数の長い職員から退園生の生活の様子を聞くことができませんでした。北光学園を巣立ってから色々なことがありながらも、みんなたくましく生活していることを聞き、私も見習わなければならぬと思いました。退園生の故郷が生田原です。自分の里でもある北光学園ですが、お正月やお盆の休暇を学園で過ごすことは出来ません。退園生が里帰り出来る場を整えることも必要だと感じました。退園生の皆さん、私は生田原に転居し一軒家に住むことになりました。気軽に遊びに来てください。笑い泣きしながら昔話しをする事を楽しみに待っています。私の思い出は北光学園を離れた時で、生徒との関係が止まっていました。当時可愛い幼児だった退園生と今北光学

園で一緒に働くことができるようになり、私たち夫婦にとってはとても嬉しいことです。当時北光学園から高校へ進学する生徒は少なく、高校受験のレベルも高かったため成績優秀な子しか進学できませんでした。今は多くの生徒が高校へ進学します。時々問題もあり、職員も苦戦することがあります。高校卒業後短大、大学等への進学する生徒への奨学金制度も充実し、目標を持てば大学を卒業する事も出来るようになってきました。やる気という意味では、高校へ進学する生徒であろうと、中学校であろうと共通のことです。北光学園を通してどのように社会自立をしてゆくかが平凡な毎日の生活です。旧園舎から移転し新築されユニットケア方式になりましたが、北光学園の理念は変わっていません。

引越をした近所の方々も暖かく私たちを迎え入れてくれました。荷物降ろしをしている時に町内会の夏祭りの事を教えてくれました。以前PTA活動を一緒にした地域の皆さんも私のことを覚えてくれていました。若手職員も地元出身の指導員が2名勤めています。当時剣道少年団活動をしていた時に一緒に剣道をやっていた少年剣士が若手職員です。児童生徒が少なくなつた生田原は、小学校、中学校の約半数が北光学園の子ども達になりました。運動会は、保育所、小学校、中学校合同で実施することになっていきます。北光学園は地域支援センター的役割を担わなければならぬ社会的ニーズができていくことも感じていきます。北光学園は現在も断続勤務をやっていきます。職員の誠実さも再確認しています。自分の休日であっても担当の子ども入学式があれば出席する職員。健康管理面では常勤の看護師が子ども達一人、一人の健康状態を丁寧に看ています。ホーム業務では、衣類の縫い物も、男子職員が自前の裁縫道

具を用意し簡単な縫い物にも対応してきます。登校時は、職員も一緒に学校まで歩き、学校の玄関で学校の先生に引き継ぎ送り出している。地味で人目に付かない仕事をやっているようですが、丁寧な仕事をやっています。こつこつやっています。絆とはつらい人の思いを癒やしてくれる仲間だと思います。学園生頑張れ、私たち職員も頑張ります。

「初めての地で 再び・・・」

保育士 安藤 いづみ

ご縁をいただき、私にとって最初の職場である北光学園に四月から再びお世話になることになりました。三月まで児童自立支援施設に夫婦で住み込み寮を担当してい

ましたが、そこでの子ども達と接する時は、最初に北光で教わった事が基本となっていたような気がします。一年前までは、北光の職員になるとは予想もしておらず、今は色々なホームにお邪魔をし、戸惑いと不安な気持ちで日々を送っています。

私が北光で働いていたのは、もう三十年も前であり、その頃とは建物は勿論のこと、子どもの様子も随分と違っています。ただ、邦子お姉さんをはじめ、以前一緒に働いていた職員も現役で働いており、その子供達と向き合う姿に感慨深いものを感じます。又、若い職員の皆さんのとてももしっかりした姿には頼もしさを感じています。ホームにいてもウロウロするばかりで、職員の方の邪魔になっている事が多いのですが、一つ一つ教えてもらいながら覚えていこうと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

感謝申し上げます

(一月一日～三月三一日)

【寄附・寄贈等】

三浦勉様(小清水町)、花岡美和様(佐呂間町)、北見白樺ライオンズクラブ様(北見市)、山本秀勝様(旭川市)、樋渡静子様(北見市)、(株)ながさわ様(美幌町)、アキュート模めぐみ様(遠軽町)、米田佳弘様(美幌町)、北見洋菓子協会会長荻谷裕一様(北見市)、大山和夫様(江別市)、井村ひろみ様(遠軽町)、清水カズ子様(長崎県)、湧別子育て支援センター様(湧別町)、中央共同募金会戸石様(東京都)、小田友美様(音更町)、米田朗子様(北見市)、佐藤敬子様(豊富町)、中西康裕様(札幌市)、大須節子様(埼玉県)、武田清美様(苫小牧市)、(有)ダスカジャパンクアウテモック様(茨城県)

【一般寄附金】

日本チャリティ活動支援協会様  
 (東京都)、網走市女性保護の会様  
 (網走市)、横瀬兼二様(東京都)、  
 中越ゆき江様

二九日(水)

職員会議・ケース会議  
 (小中)運動会総練習

五日(金)  
 八日(月)

(小五・六)振替休日  
 (中)全校参観日  
 (紋)振替休日

◇六月

一日(土)  
 三日(月)

(小中)運動会  
 (小中)振替休日  
 職員会議

十日(水)  
 十二日(金)  
 十三日(土)

職員会議・給食会議  
 (小)開校記念日  
 (紋)体育祭

五日(水)

(遠)中間考査〓七日  
 職員会議・給食会議

十四日(日)  
 十六日(火)

(遠)学校祭〓十五日  
 やまべ祭り  
 北光学園創立記念日

◇五月

一日(水)

(紋)開校記念日  
 (遠)開校記念日

十二日(水)  
 十四日(金)

職員会議・給食会議  
 (小)全校遠足  
 総合避難訓練  
 職員会議

十七日(水)  
 二十日(土)

職員会議・ケース会議  
 (遠・紋)振替休日

七日(火)

(中)開校記念日  
 職員会議・給食会議

十五日(土)  
 十九日(水)

(中)中間テスト  
 (小)参観日

二三日(火)  
 二六日(金)

(小)終業式  
 〓八月十五日夏期休業

十一日(土)

定例行事  
 職員会議

二一日(金)  
 二二日(土)

焼き肉パーティー  
 職員会議・ケース会議  
 (小四)見学旅行

二六日(金)  
 二六日(金)

(中・遠)終業式  
 〓八月十八日夏期休業

十八日(土)

夜間想定避難訓練  
 職員会議

二六日(水)  
 二九日(土)

家庭・ふれあい通信日  
 (小四)見学旅行

二六日(金)  
 二七日(土)

(紋)終業式・閉舎日  
 〓八月二十日夏期休業  
 家庭・ふれあい通信日  
 夏休みキャンプ

二四日(金)

事前空瓶古紙回収  
 空瓶古紙回収

二五日(土)  
 二六日(日)

職員会議  
 (小五・六)修学旅行

二九日(月)  
 二七日(月)

〓三〇日

二七日(月)

(紋三)見学旅行

〓三一日

〓四日

〓三〇日

■編集後記

新年度が始まりました。進級、進学した子ども達は、学年が一つ上がり頼もしくなった面も見られるようになりました。  
 今年は十連休という大型連休でみんな楽しみにしています。  
 次号は七月頃の発行を予定しております。

【基本理念】

親の心で子どもの自立支援

【ホームページ】

<http://www.hokkougakuen.jp>

子ども家庭支援センターオホーツク  
 電話 0158-45-3211  
 メール kodomo.ks.ohotsuku@wine  
 pala.or.jp  
 相談料無料。匿名でも結構です

北光学園在園数

(四月一日現在)

	合計	その他	高校生	中学生	小学生	幼児	
【定員】 四五名	20	0	4	7	9	0	男子
	15	0	7	3	5	0	女子
	35	0	11	10	14	0	合計

地域小規模児童養護施設在園数

(四月一日現在)

	合計	その他	高校生	中学生	小学生	幼児	
【定員】 六名	0	0	0	0	1	0	男子
	6	0	0	3	2	0	女子
	6	0	0	3	3	0	合計